

事業番号	04 11 03	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	公衆浴場確保対策事業				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	食品・生活衛生課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保			E-mail	shokusei@pref.nagano.lg.jp		
		4 食品・医薬品等の安全確保			実施期間	S48 ~		

1 事業の概要

目指す姿	公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に資する公衆浴場(入浴料金の統制を受けるいわゆる「銭湯」)の経営の安定化を図り、住民の利用機会を確保する。
------	--

現状(予算編成時)	依然として浴室を持たない住宅が1.4%(H20総務省「住宅・土地統計調査」から)あり、これら自家風呂を持たない人々の入浴機会を確保する必要がある。
-----------	---

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 検討中	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律 自家風呂を持たない住民の入浴機会の確保を図る必要がある。

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)						
	基幹設備の改善要望に対して補助するとともに、経営基盤が弱い弱な営業者に対する助成を行い、施設の減少に歯止めをかけ、入浴機会を確保する。 ・営業施設廃業数について、平成20年～24年度の施設平均廃業数(年3件)以下にする。						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
		設備改善事業補助金	補助金	・補助内容 基幹設備の改善に対する補助(平均入浴人員が150人未満の営業者に対する市町村補助額の1/2以内)	4,004	3,987	6,591
	経営安定化助成事業補助金	補助金	・補助内容 経営安定化の促進に対する補助(平均入浴人員が150人未満で公衆浴場を専業とする営業者(準ずる者を含む)に対する市町村補助額の1/2以内)	1,644	1,551	796	
	合計			5,648	5,538	7,387	

事業コスト	区分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	8,292	6,416	5,648	7,387
		補正予算				
		合計(A)	8,292	6,416	5,648	7,387
	Aの財源	一般財源	8,292	6,416	5,648	7,387
		県債				
		国庫支出金				
		その他	0	0	0	0
	決算額(B)		8,262	6,390	5,538	
概算人件費	職員数(人)	3.60	3.60	3.60		
	概算人件費(C)	29,729	29,729	29,729	0	
概算事業費(B+A+C)		37,991	36,119	35,267	7,387	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
年間廃業数	2件	3件以下	1件	達成	年間廃業数3件以下

目標に対する成果の状況	設備改善事業等補助金の交付により、燃料費等諸経費の高騰などで経営環境が大変厳しい状況下において、経営上緊急を要するボイラー等の基幹設備の整備を最低限に実施し、営業者の営業継続への意欲を呼び起こせたことにより、廃業数を最小限に抑え、目標を達成することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	公衆浴場(銭湯)を取り巻く情勢は、燃料費等諸経費の高騰などにより、大変厳しい状況にある。利用者は自家風呂を持たない人ばかりではなく、自家風呂はあるが一人住まいのお年寄りなどで風呂の準備が大変な方やゆったりと大きなお風呂に入り人との交流の場として利用している方もいらっしゃる。限られた予算の中で、入浴の機会を必要とする方々のために、施設が維持、継続できるように公衆浴場の経営の安定化に向け、最大限の効果が図れるよう引き続き対応していく。